

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】 / (分野)		授業形式								
E142E014		近代文学演習 (Seminar in Modern Japanese Literature)							対面								
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態							
選択		2	3	教育学部 ≪令和2年度 以降入学生用 ≫	前学期	木5	日本語			単独							
担当教員	氏名 藤原 耕作																
	E-mail fujiwarakosaku@oita-u.ac.jp 内線 7533																
授業の概要	学生が、一人一作品を担当し、調査・研究してきたことをレジュメにまとめ、発表する。それをもとに、全員で意見交換する。																
具体的な到達目標								DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	
目標1 太宰治作品についての研究発表を通じて、近代文学概論で学んだ調査・研究の手法を実践する。										○							
目標2 研究発表をもとに、全員で意見交換、議論できるようになる。											○						
目標3																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
各DPへの関連度 (計10)										7	3						
授業の内容																	
1	はじめに 今期の予定 太宰治について 演習発表の仕方 担当決め																
2	金銭の話																
3	凡例 (新釈諸国囃)																
4	貧の意地 (新釈諸国囃)																
5	大力 (新釈諸国囃)																
6	猿塚 (新釈諸国囃)																
7	人魚の海 (新釈諸国囃)																
8	破産 (新釈諸国囃)																
9	裸川 (新釈諸国囃)																
10	義理 (新釈諸国囃)																
11	女賊 (新釈諸国囃)																
12	赤い太鼓 (新釈諸国囃)																
13	粹人 (新釈諸国囃)																
14	遊興戒 (新釈諸国囃)																
15	吉野山 (新釈諸国囃)																
ラーニング	A:知識の定着・確認		○	課題と演習発表による知識の定着・確認。			工夫その他の										
	B:意見の表現・交換		○	演習発表による意見の表現、それを受けての意見の交換。													
	C:応用志向			レポートによる意見の表現。													
	D:知識の活用・創造																
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		取り上げる作品を読み、疑問・感想・意見などを課題にプリントに記入する。(15h) 演習発表の準備をする。(10h)														
	事後学修		演習での意見交換を受けて、あらためて作品を読み直し、疑問・感想・意見などを課題のプリントに記入する。(20h)														
	想定時間合計		45														
教科書	Moodleで資料を配付する。																
参考書	講義時に適宜指示する。																

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	課題		70%	○	○								
	演習発表		10%	○	○								
	意見交換		10%	○	○								
	レポート		10%	○	○								
注意事項													
備考													
リンク													
	URL												